



自由に遊ぶ時間に、子どもたちは様々なものを創り出しています。

入園当初は、室内に用意していた積み木やブロック・折り紙・粘土などを利用していましたが、6月に入り空き箱を利用して作る子どもも増えてきました。

3歳児は目的なく作っている場合も多いです。しかしよく観察してみると、「繋げてみる・捻じってみる・押してみる等々」、動きを繰り返しています。これらを通して得た様々な気づきや感覚がその後の豊かな感性に繋がり、表現していく意欲に繋がっていくと感じています。

一方、イメージが既にあるそれを形にしたいという子どももいますが、まだ自分だけの力ではできないのも3歳児です。保育者が個々の思いを受け止めつつ、楽しみながら一緒に作る経験を大切にしています。

遊びの中で生まれた子どもの作品をご紹介します。









